



社会福祉法人尚徳福社会 生麦保育園

2020年1月号 発行

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

今年度も後、わずか3か月となりました。子どもたちは毎日新しい発見を繰り返しながら、成長を繰り返しています。私たち保育者も、子どもたちの元気な姿を見ながらこれからも研鑽を重ね、保育園での生活が日々楽しいものになるよう努力していきたいと思ひます。これからもご協力お願ひいたします。

～大掃除を経験して～



年末に子どもたちと大掃除をしました。雑巾を使うことが一番大好きな様子で、順番に壁、窓、自分のロッカー、靴箱と楽しそうに行っていました。窓や壁は、自分の手の届く範囲で、ロッカーや靴箱は埃を払ってもらった後に拭きました。そんな中で、玩具の棚拭きと玩具もきれいに並べました。特に片づける場所を指定する事はしませんでした。子どもたちでここはお皿、此处はブロックと声を掛け合いながらきれいにしていました。その日から、片づけに少しだけ変化が見られます。片づけた後を見てみると、飛び出していた玩具の箱がきれいに並んでいます。これは大掃除の成果でしょうか？



～大好きな制作～

12月は沢山の製作をしました。遠足や散歩で集めてきた松ぼっくりやドングリを使っただけの作品作りです。手始めは、画用紙に自由にボンドを使っただけの貼り付けでした。上手にボンドをドングリの頭に付けて張り付けたり、横に寝かせたり、枝迄使う子もいました。その後、クリスマスに向けツリー、リース等を作りました。画用紙を長方形にしたものを繋いでいきました。繋げていくのが少し難しいかな…と心配しましたが驚くほどきれいに、個々に繋げる枚数がちがう為、大きさもそれぞれでとても素敵な作品になりました。持ち帰りクリスマスに自宅で飾っていただけましたか？制作をしている時の子どもたちは、みな目が輝いています。集中力もすごいです。本当に大好きなんだと感じています。次は何を作るんだろうと期待している子どもたちの期待に応えられるよう、これからも色々な制作に挑戦していきたいと考えています。

～お願ひ～

・お散歩、外遊び、この季節にはコートが必須アイテムです。準備をしていると必死でチャックを上げようとしています。なかなかはまらず、「やって」と声がかかります。それでも毎日のことなので、少しずつ上手になり、「出来たよ。見て。」と嬉しそうな笑顔も見られるようになってきました。最近のニュースでフードの付いたコートを着ている子が友だちにフードを引っ張られ、首に傷がつきいじめではないかという話題が出ていました。フード付きで滑り台を滑り降り引っかけた首つり状態になったという事故の話も聞いたことがあります。無防備な状態で遊ぶ子供たちには危険はつきものですが、なるべく危険な状態は少なくしていきたいと考えています。そこで、現在のお子さんのコートを見直していただけるようお願いいたします。